



東日本大震災から7年

～被災地・被災者とは何か

河北新報社防災・教育室
武田 真一

愛知学院大モーニングセミナー 2018/3/13

被災地の足取りの総括

- 「**時が止まったまま**」ではない
- **道路も鉄道も次々と開通**
- **遅れた住居再建にも見通し**

しかし

- **30兆円インフラ事業の成果**
- **目に見える部分の復興当然**
- **苦悩、不安はくみ取れず**



- ◎ **数字でまとめ切れない**
現実に対応仕切れず





名取市の仮設集会所 閉上の56歳被災者は訴える
「仮設は長く住むところではない」
「80歳までローン背負うプレッシャー、分かるか」
「次の災害が起きると、悲哀は繰り返される」

幼稚園バスに津波

石巻 地震後発車、のまれる

2011年3月27日

園児5人犠牲

「残っていれば…」

亡くなったのは、同市日和が丘4丁目
の私立「日和幼稚園」に通う4〜6
歳の男児1人、女児4人。
齋藤一園長(66)によると、11日
の地震直後、亡くなった5人を含む12
人を乗せワゴン車が出た。門脇町
や南浜町方面に住む7人を門脇小で降
ろした後、大津波警報に気づき園に引
き返す途中、津波に巻き込まれた。
園児は14日、変わり果てた姿でワゴ
ン車の周囲で見つかった。保護者は焼
け残った衣服などで子どもの身元を確
認した。男性運転手は一命を取り留め
た。同乗していた女性職員は今も行方
不明。門脇小で降りた7人は無事が確
定。

遺族「悲劇を教訓に」

認された。
犠牲になった5人は大街道地区や蛇
田地区に住んでいた。いつもは津波が
直撃した南浜町、門脇町を通らないル
ートで送迎されていた。
齋藤園長は「大きな地震が起きたら
園にとどめるのが原則だ」としなが
ら「園庭に避難した子どもたちが不安
がったり寒がったりしたので、親御さ
んの元に早く帰そうとした」とバスを
動かした理由を語った。
会社員の西城靖之さん(42)は同市大
街道東1丁目。次女の春音ちゃん
(6)を失った。
「子どもは大人を信じてバスに乗っ
たはず。それが地獄行きとは知らずに。
誰かを責めても切なくなる。こうい
う悲劇があったことだけは記録に残し、
教訓にしてほしい」
(大友庸一)



2018年1月31日

大震災6年10カ月

石巻の女性身元判明

宮城県警は30日、石巻市門脇町5丁目目で2011年3月に見つかった遺体の身元が、東日本大震災で行方不明になった市内の女性パート職員＝当時(58)＝と判明したと発表した。遺骨は29日、女性の夫に引き渡された。

県警によると、遺体は11年3月14日、津波で園児5人が犠牲となった私立日和幼稚園(休園中)のバス近

くの路上で発見された。女性は同園の職員で、園児が乗降する際の補助役として同乗していたという。骨の鑑定や発見者への聴取などで身元を特定した。

女性の夫は県警を通じて「身元を特定していただき感謝したい。やっと妻の骨を墓に納められる」とコメントした。県内の震災による行方不明者は1人減の1224人となった。

昨年12月陸前高田で発見の遺骨

震災の不明男性と判明

岩手県警は2日、陸前高田市の広田湾で昨年12月に見つかった遺骨をDNA型鑑定した結果、東日本大震災で行方不明になっていた同市内の無職男性＝当時(80)＝と判明したと発表した。

県警によると、刺し網漁をしていた漁師が頭蓋骨を発見した。男性は津波で流されたとみられる。遺骨は1日、男性の長女に引き渡された。県内で身元が判明していない遺体は2日現在で56体となった。

2018年2月3日

震災は終わっていない

- 犠牲**1万5894人**
- 追悼と慰霊の祈り続く
- 行方不明者**2546人**
- 月命日に捜索続く
- 自殺、関連死**3591人**
- 孤独死増加
- 犠牲責任問う訴訟続く



◎ **大前提 = 被災地は
まだ震災を生きている**





